

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年12月8日（金）16時00分～17時45分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
栗崎企画調査官、真田安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員
検査グループ 核燃料施設等監視部門
小澤企画調査官、石井主任監視指導官、百瀬主任監視指導官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他2名
高速増殖原型炉もんじゅ 廃止措置部 次長 他8名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
6. 配付資料
資料1 バルクナトリウムの搬出に係る検討状況
資料2 燃料出入機本体Aドアバルブ及び燃料洗浄設備ドアバルブ閉止不可

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	それでは本日の面談を始めさせていただきますのでよろしくお願いします。はい。董事長の竹内でございます。
0:00:09	今日はですねバックアウト量の搬出にかかる検討の状況と、それから
0:00:16	燃料を下げたいと取り出しの中断につきまして、混合をどういうふうにしていくかっていうことについて、資料を求めて参りました。この2件についてご説明させていただきたいと思っております。
0:00:35	また元パイプラントという発生状況ということで、次の方から説明させていただきます。はい。40 事象管理水消火の松井ですよろしくお願いします。それでは資料1、
0:00:48	に基づきまして説明の方させていただきます。
0:00:52	ページめくっていただきまして、まず目次がついてございます。この中では最承認1ポツのところですね、いろいろ抜き出し搬出していくにあたって、問10中、斉藤野中の説明は市の方の、
0:01:08	考え方、設計、そういうそれについての説明を1ポツのところさせていただきます、入札のところ、
0:01:17	その配置設計に基づいて、あとは具体的にどういうふうに設備を設計していくのかというふうになった方、安全確保と絡めまして、血糖値を紹介させていただきます。
0:01:30	それでは、中身の方入ります。2ページ目でございます。このページにつきましては、いろいろ配置設計を行っていく上で、大まかな検討条件と、こういうものを最初に、
0:01:45	まとめているものでございます。
0:01:48	1ポツのところは物流基本計画と、こういうふうに書いてございますけれども、
0:01:54	ISOタンクを用いるということ後は、ISOタンクの大きさ、それなりの大きさのものがあるよというもので、あと、前回の面談の時にもご説明させていただきましたけれども、
0:02:09	まとめの搬出は非放射性、等を、まず2028年度に出して、そのあと改造工事を経て、2030年度31年度で放射性、熊取を出して、大きく分けるとこの前期と後期と、この表にまとめてございますように、
0:02:26	大きく分けるとこの前期と後期というふうに分かれると。それぞれの搬出対象ですとか量で大体どれぐらい外装タンクを使うのか、あとは質問手順。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:40	んですね。そういったものを表のところにまとめてございます。表に出てくる数字につきましては今、現時点の想定というところで扱っております。
0:02:53	で、2 ポツのところですね、配置設計の検討条件というところで三つ黒い丸をつけてございます。まず一つ目が、⑨ナトリウムの抜き出し能力と、こういうことで、
0:03:06	まず非放射性のトリウムの方に評価させますと、まずこの 28 年度 1 年間というところで行っていきますので、大体月 4 基ぐらいは抜き出していかないといけないと。
0:03:19	こうなってくると、むき出しよりはやっぱり複数基重要だと思います。というのがまず大きな条件として挙げられます。
0:03:27	で、そのあとは一時保管施設の保管能力ということで、こちらが前期と後期で少し考え方が違うんですけれども、前期の方は月 1 回ぐらい、どんどんを外に出していくと。
0:03:40	で、後期の方は、ある程度まとめて出すというところがございます。で、まず、非放射性ナトリウムの方から検討を進めて参りますので、そちらにつきましては、
0:03:52	1 ヶ月の 4、大体 4 基ぐらい抜き出すというところで、少し湊の事情とかで、遅れる出せないという状況も考えられますのでそういったところの予備的なところを含めて大体 10 基ぐらいは、
0:04:07	置けるスペースはあるかなというようなところで、考えてございます。あとは障防法の要件、そういったところを満足していくと。
0:04:16	で、後期はもう少し発信し、伴進藤が少ないので、20 基前後ぐらいの保管能力が要るかなあというところでこちらまた、
0:04:28	これから検討を進めていくというところでございます。
0:04:32	あと、愛想タンクの建物への搬出によるというところは、ここは建物への改造を極力減らしたいというところで、もう基本は既存の、
0:04:43	大型機器の搬出に有効として設計されている形のビデオ利用すると、これをまず大きな全検討条件というふうに定めて、検討を進めるというふうにして参りました。
0:04:57	質疑、3 ページ目になりますけれども、
0:05:00	先ほどの検討条件に基づいて、配置設計検討進め方というふうなところで、大きく四つ、黒丸をホームページでつけてございます。
0:05:11	まずですね配置を考えていく上では、下の表のところでも示しているんですけれども、ISOタンクの取り回しであったり、等の抜き出しエリアであったり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	連絡員の移送であったり、こういったものを考える必要がございます。
0:05:29	ISOタンクを設置する、名取間野東田というのはやっぱり複数機ISOを担保を考えていけないというところがあるので、
0:05:39	広いエリアが必要であると。さらには、ISOタンクを取りましてあるとか、移送ルート、こういったところの出発点であったり、帰着点っていうか、
0:05:50	そういったところにもなりますので、そういうと密接に関係してございますので、やっぱりナトリウム抜き出しエリアというのを優先して設定して、そのあとに、具体的な配置っていうのは、設備の設計と合わせて進めるとというのが合理的効率的かなと。
0:06:06	いうふうに考えて、進めて参ります。
0:06:09	で、二つ目の黒丸のところはですね、ISOタンクのは収入、建物内への話には、廃止措置第一段階で実施した二次系のナトリウムの一時保管用タンクと同じルートを活用すると。
0:06:23	建物の改造最小限できると。
0:06:26	ということがございます。で、さらに非放射姓名取を保管している、既設タンクの近くということも、これ実はございますので、間取りの抜き出し配管の整備の件、円からも、
0:06:40	合理的ということで、非放射性ドリームの抜き出しエリアというのは、もう基本的にここを認識をナトリウムの一時保管用タンクの近傍たい。
0:06:50	いうところで、ほぼもんじゅの中では1卓になるというところがございます。これを前提として、ここは設計検討を進めると。
0:06:58	ということです。
0:07:00	あとはそうなってくると放射性ナトリウムをどこでデータを出すかということになります。で、放射性ナトリウムの方はですね、文字の特徴として放射能レベルが低く、移送ルートとか抜き出しエリア、
0:07:15	アンカー、そういったものをですね、非放射性まとめると共通化できる可能性があるんじゃないかと。
0:07:22	というようなところがあります。従いまして、マツイ抜き出しへの共通化をすることで、店舗追加スペースというものが必要で、なりますし、
0:07:33	追加の工事規模を減ると、あとはそうなると発生廃棄物の削減に繋がっていくと、ということで、放射線ナトリウムの抜き出しエリアは、共通化すると。
0:07:44	こういう方向で検討してみると。
0:07:46	こういうのが今の院長等の方針ということになります。
0:07:52	放射性ナトリウムの抜き出しへの共通化検討ということが、4ページ目にも似たようなことが、ちょっと書いてあるんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:01	黒マル三つございますけれども、一つ目の車のところはですね、1時間放射性ナトリウムが保管してある容器、どういったところにあるかというような情報が一つ目の黒丸に載せてございます。
0:08:17	放射性ナトリウムを取り扱うということなので、最初は当然、管理区域内のエリアというのを前提として、検討をこれまでに進めてきました。
0:08:30	限られた期間内で話を達成するためには、複数基八尋スペースがいるということで、そうすると管理区域でいきますと、原子炉格納容器の、
0:08:43	オペフロ、ここが一番の候補というふうにして、過去の検討が進めて参りました。で、その辺りの情報は、以前の監視チーム会合の資料とか、等でも紹介しております。そういったところは参考資料2と。
0:08:57	いうところで、等をつけてございます。
0:09:01	一方でですね、8年第1段階で、燃料破損させることなく燃料体を取り出し作業を完了しましたし、あとは一次系ナトリウム中の放射性物質濃度というのは低いと。
0:09:14	抜き出し作業時のISOタンク周りの放射線レベルも低くなるという想定でございますので、そういったところを勘案すると、放射性ナトリウムの抜き出しと。
0:09:28	こういうのが、一時管理区域を設定するという必要があるんですけども、追加工事規模をというものを最少ができて、ナトリウムの早期搬出が見込める。
0:09:39	非放射性等とおんなじ場所。
0:09:42	で、放射性等にも抜き出すということとを前提に、検討を進めると。
0:09:49	こういうふうにしてございます。で、一時管理区域の設定等につきましてはですね、2027年3月ごろの認可を目途に、こちらの方は準備していきたいというふうに考えてございます。
0:10:06	5ページ目に参りますけれども、こちらは建物、そこをにおけるISOタンクの流れというイメージになります。ここには、一時保管のエリアも含めてのものになります。
0:10:21	2ページ、最初に冒頭に示しました通りですね、漸近は首都高規範主というところにおいて、一時保管に係る用法。
0:10:33	多い表なるので、まずは先に来る、電気の非放射性の方ですね、こちらの一時保管エリアを先行して検討しています。で、現時点ですね、置いて、この下に示す、青井、1234と、この四つ。
0:10:51	ぐらいがもんじゅの中では、まず候補があるかなというところで選定をいたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:56	で、この絞り込みの中ではですね、やっぱ将来発生する他の工事との干渉ですとか、
0:11:04	あとは、ISOタンクを運搬するトレーナーの取り回しの容易性、これも単純に労働災害を防止するというのも含めてのことですけれども、そういったものですか、あとはスペースですね。
0:11:16	当間からもISOタンクも、当然中にサイトの中に入ってくることになりますので、そういうのもあわせて、一緒に保管できれば、
0:11:26	ほんな 10 名の中で、交換し、からのものと、入れたものをそれを交互に交換して、ナトリウム抜き出し 0 に持っていくというところが合理的かなというふうに考えておりますので、
0:11:40	こういった観点が、絞り込みの中では重要というふうに考えてございます。それでいきますと、この四つの中で四番み港湾エリアになるんですけれども、ここが一番、
0:11:53	広いいところもありますし、あんまり他の方にも干渉しないと。
0:11:59	そういったところの観点から、やはり今ここが齋木かなというところで、もう一度検討を進めているところです。
0:12:08	最終的には、変更認可申請前に決定して、当該に設置する一時保管施設の具体化、ここにつきましては危険物保管ということになりますので、
0:12:20	消防法に沿って検討を進めていきたいというふうに考えております。
0:12:25	あとは後期の搬出、放射性の方ですね、こちらが管理区域の設定とかも含めてですね、必要となると考えておりますので、
0:12:36	これは 1、後期橋の一時保管エリアかというのも、
0:12:41	別途、並行して検討を進めていくと。で、後期の搬出分につきましては 2027 年 3 月ごろに化を目標に、こちらを進めていきます。
0:12:53	その中の赤い矢印は、それ、青い矢印への建物からの移動ルート、そういうものを想定したり、行ってございます。
0:13:05	ここまでは、配置の設計というところで、功刀ナトリウムの抜き出しというところは、放射性も含めてですね、日本。
0:13:17	非放射性の投入とおんなじ場所で抜き出す。その抜き出す場所は、二次系ナトリウムの一時保管タンクを設定したエリアの隣のエリア、ここ。
0:13:30	を基本として、前提として考えていくというところは、今の配置の計画の状況ということになってございます。
0:13:41	次に進みますと、2 ポツということになります。ここからは、問題と言いますか、その配置設計を含めまして、安全確保を関野設計も、
0:13:56	を踏まえてどういうふうにやっつけていこうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:59	そういうところの考え方を示したものが、2 ポツ以降ということになります。
0:14:04	まず 6 ページにつきましてはですね、その抜き出しよりやが右側の上の方の、
0:14:14	ところになるんですけども、このISOタンクというところが置いてあるエリア、ここが抜き出しエリアと、こういうことになります。
0:14:24	で、そこに持ってくるルートが、右の方が非放射性バイクになっておるものを抜き出しルート、それから、左側の方が放射性のトリウムを持ってくると、そのポンチ絵と。
0:14:40	こういうふうになってございます。で、関連にも書いてございますけれども、青い部分が既設で、緑の部分が新設の設備。
0:14:50	ピンク色が電子ランプと、こういうことになってございます。で、赤枠で示してございますのが、この安全確保ということを考えていく。
0:15:02	で、考慮しないといけない事項ということ、赤い吹き出しで示しております。
0:15:10	上の方の大文字の方に参りますけれども、
0:15:14	まず選定したナトリウムの抜き出しエリア、こいつを基にした、液体ナトリウムを取り扱う作業となる、抜き取り、それから抜き出しにかかる移送ルート、それから抜き出し方法の概要というのが、下のポンチ絵と。
0:15:28	いうものになります。で、括弧書きのところはですね、既設のタンクとISOタンクの間は配管でつないで、既設の電気ポンプを利用して、ISOタンクに移送すると。
0:15:41	いうものでございます。過去の回診介護におきましては、電磁ポンプではなくてガス圧で送るということを考えているというようなことも、
0:15:53	説明して検討してはいたんですけども、その時からの検討の進捗を踏まえて、今は電池ポンプで抜き出しを考えていると。そういうところの進捗につきましてはですね、後ろの参考資料 3 と。
0:16:08	こういうところで、過去のからの進捗部分というものを見ると、示させていただいております。
0:16:16	で、二つ目の黒丸の部分ですけども、安全確保の基本的な考え方といたしましては、やはりナトリウム漏えいを、
0:16:26	最大の安全阻害要因というふうにとらえております。従いまして、新設設備においては漏えいを防止する設計、それから既設設備においては既存の漏えい対策を有効に活用、これを基本として、
0:16:39	安全を確保していきたいというふう考えています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:42	で、さらにですね、今回このナトリウム抜き出しへというところがやはり一つのポイントとなりやかなというふうに考えてございます。で、赤い吹き出しで示しましたけれども、
0:16:55	ナトリウムの抜き出し作業をの時はですね、作業員が近接して作業を行うという状況であったり、あとは後程出てきますけれども、ISOタンクと移送配管との接続。
0:17:07	こちらはですね、フランジ接続ということになります。したがってここは、本業を想定した対策を行っていくと、そういう考えでやっていきたいというふうに考えております。
0:17:21	このための抜き出しや、におきましてはですね、松森大江を想定して、あとはここはハードとソフトをこれを適切に組み合わせて安全を確保していきたいと。
0:17:32	というのが基本的な考え方と、ということになります。詳細は、この次のページ以降で、それぞれ示したいと思えます。
0:17:43	まず7ページ目、新設設備設計の考え方というタイトルをつけています。
0:17:50	まず最初、基本的考え方を載せてございますけれども、まず、新設するISOタンクですとか、鳥海宗様の配管。
0:18:01	こういうものは、40年の設備から、ナトリウムを排出するために一時的に使用する、工事用の設備と、こういう位置付けになると考えています。で、一方ですねナトリウムは化学的に活性で、
0:18:13	等のが起こってしまうとですね、作業員への安全に影響を与えるだけ、これは当然相談ですけれども、あと廃止措置工程。
0:18:24	菊池先生恐れというものがあると考えておりますので、工場の設備とはいえですね、ナトリウム移送にモチーフ設備は、漏えい防止を第1に考えて設計すると。
0:18:35	というのが大きな基本的な考え方というふうにしていきます。
0:18:40	具体的にどういうふうに行っていくかというところで、2ポツのところですね。まず一つ目でございますけれども、この施工の品質管理というのはしっかりやっていくということでございます。
0:18:54	下に示しております技術基準が三つありますけれども、こういったものをですね、施設の供用に向けた設置であったり運転等の基準であると。
0:19:07	こういうことになります。なんで廃止措置段階で必ずしも適用が必要かという、そうじゃないのかもしれないんですけども、そう。
0:19:18	一方でですね、並み走時の作業員の安全確保、それからアールエイジの工程遅延リスクにかんがみ、新設する移送配管というものは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:29	もう高速原型炉、第4色素と。
0:19:32	そしてですね、この、こういった運転地に求められる技術基準、これに適合するように、設計して、施工品質管理を行っていくと。
0:19:41	これでしっかり品質を管理して、漏えいを防止していくというのがまず第1の考え方になります。アスタリスクのところを書いてございますのは、
0:19:53	特に、丸安保、浅田の二番のところですね、これが基準に記載されたJISの引用年次が古かったり、古い、
0:20:04	記述が古いというような場合はですね、直近のものを用いてやっていこうというふうに文字として考えているというところでございます。
0:20:14	それから、次のページ8ページ目で、今度は耐震の設計の考え方になります。
0:20:21	まず配管なんですけれども、原発地の設置許可という形ですね、こちらに照らしますと、今回、
0:20:34	新しくつける配管についてはPEEKアースに相当するかなというふうに考えられます。しかしですね、ナトリウムの移送配管というのは、
0:20:45	空気雰囲気中のエリアに設置されるということがございますので、地震起因による配管の損傷というものを排除することを目的に、Sクラス地震における設計となる。
0:20:58	耐震クラスB加古Sと、これで耐震設計を行っていくというふうになります。
0:21:08	この申請細管の漏えい対策方針についてと、こういう下の黒枠で囲っておりますけれども、
0:21:14	この施工の品質管理、それから耐震設計、こういったものは、確実にやっていきますので、その上ですと、名取の移送配管というのは、共用時間も短い位ですし、また構造材料の劣化に伴う配管の損傷というのは、
0:21:32	基本的に考えられないというふうに思っています。従いまして、この日、施工の品質管理者、耐震設計、これを確実に行えば、中身漏えいというものは排除できるというふうに考えています。
0:21:46	従いまして、新設配管の漏えい対策方針といたしましては、漏えいの監視につきましては可能な状態といたしますが、ナトリウム漏えいを想定した。
0:21:57	土肥ですとか、言ったらいい。こういったものまでは、もう敷設しないと。
0:22:02	いうところで、持ち出しは今考えているというところなんです。
0:22:08	それから、二つ目の場ではISOタンクに係る、耐震の考え方というところなんです。で、改装タンク自体はですね、国際規格に適合した。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:20	ものがございますので、輸送時に加わる荷重というものを考慮した設定になってございます。ただ、Sクラスの地震動想定の評価というものは実施されてございませんので、タンクにつきましては、ナトリウムの抜き出しエリアに固定した。
0:22:36	国井名取の充填した状態での、その各部位、
0:22:41	そういったところの構造評価をきちんと実施をして、まとめ漏えいが生じないということを確認しようというふうに考えてございます。
0:22:54	一つ目が新設設備の考え方になります。9 ページ、20 ページが、
0:23:03	私が申し上げました、特養のエリアというところであり、またビルの抜き出しや、ここに焦点を当てた安全確保の考え方。
0:23:12	ということになります。この抜き出しエリアにおける安全確保の基本的考え方と、こういうところで四つ示してございます。
0:23:22	一つ目の黒丸のところですけども、
0:23:25	タンクと配管との接続がフランジ接続になりますので、これはタンクの接続であったり、切り離し、これを繰り返し行くと、非放射性ナトリウムであれば、
0:23:39	40 回以上を行っていく作業ということになります。
0:23:43	なので、古木氏、作業性や工程成立性、こういったところを考えるとですね、フレキシブル配管を用いた接続というふうになります。
0:23:55	一方ですねフランジ接続というところは溶接構造とは異なって、シール材を用いた密封構造と、こういうふうになりますので、どうしてもシール部から持てるものへという可能性を完全には排除できないというふうに考えてございます。
0:24:11	当然作業前には、リークチェックとか、やった上で作業を行うんですけども、ものとしてシール部からの漏えいの可能性というのは完全には排除できないというふうに考えてございます。
0:24:25	この抜き出し量には近接して作業を行う作業員を存在するので、半年間のためにですね、ちょっと次のページの下にイメージ図も、
0:24:36	つけてございますけれども、フランジ部からの微小漏えいというのを想定した漏えい対策を行っていくと。
0:24:43	この漏えい対策につきましてはですね、作業区画ごとに検出と仮定し、周辺設備への影響緩和、こういったものを、ハードとソフト、適切に組み合わせるって行っていくと、これが基本的な考え方になります。
0:24:59	を通じてそれぞれ方針、検出停止、それから、影響緩和の方針を示しております。まず漏えいの検出のところでは。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:11	ここは既設の火災感知器に加えまして、漏えいを想定する箇所を、としてのフランジ部から漏えいしたという行為を検出できるようにですね、タンクの上部に、漏えい検出器を設置いたしますのはご対応ということになります。
0:25:28	二つ目のポツのところはですね、作業員が近くにいますので、現場でも直接監視するというためにですね、評価した場合は、速やかに中央へ連絡して、得て、中央で漏えいを。
0:25:44	判断する。これはソフトの内容ということになります。こういったもので、県域は担保していくと。
0:25:52	二つ目、漏えいの早期かつ確実な経費というところで、検出器からも、速やかに停止するというのがまず一番対策ということになります。
0:26:04	ここは現地ポンプの停止ですとか、弁の閉止、こういった操作ですね、こちらを速やかに実施できる体制というのを整備いたします。
0:26:15	さらに今、漏えいの停止の対応というのはですね、ナトリウム抜き出しエリア、ここは漏えいを想定してるエリアということになりますけれども、こういった、
0:26:25	漏えいが発生しているエリアの外ホームでも可能な状態にすると、いうことは、大事だというふうに考えています。
0:26:34	あとは影響緩和というところでチラーはもともと今でも持っとなられているんですけども換気系の運転を停止して、空気供給遮断して、ナトリウムエアロゾルの拡散を抑制すると。
0:26:52	こういうもの。
0:26:53	あとは、次のページ 10 ページになりますけれども、
0:26:57	SHOEIを想定するフランジ部には、ナトリウム漏えい時の値の飛散を防止するカバー、こいつを設置します。
0:27:06	で、さらに、10 ページ目の二つ目のポツのところ、ISOタンクの設置位置の直下、ここには、
0:27:16	行かないんだというものがございませんので、フランジ部から漏えいしたナトリウムを受ける容器、こういったものをですね、周囲に設置して、ナトリウムコンクリート等の防止します。
0:27:31	で、下の取るをこの主に設置する容器に導くようにですね、ISOタンクの上部には、受けますを設置して、そこを伝ってちゃんとここに周囲に設置する。
0:27:43	大井大木に流れていくようにしたいというふうに考えてございます。
0:27:47	当然、準備する容量容器の容量が想定する最大漏洩量カバーできるものを準備いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:56	で、一番最後のところですけども、むき出しエリアにはですね、その消火剤を回避して、漏えい確認次第、作業員とか速やかに初期消火だったり、
0:28:07	こういうハードとソフトを組み合わせ、こいつで安全確保をしていくというところが、
0:28:15	ナトリウム抜き出しにおける安全確保の考え方。
0:28:19	ということになります。
0:28:22	今まで、9 ページ、10 ページのところで、説明いたしました内容をですね、下の 5、ポンチ絵のところに、
0:28:33	イメージ図と、こういう形でつけさせていただいております。
0:28:39	11 ページ目以降は、三社資料ということになりますので、ここでも割愛までの説明でご説明を割愛させていただきます。
0:28:49	私からの説明は以上になります。
0:28:56	慎重に、
0:28:57	とあるをお願いします。
0:29:04	基本的なことでもいいですかね。お願いします。あれですか。
0:29:11	ちょっといろいろレクとかしないといけないかもしれないんでちょっとか、最初から確認したいんですけど。
0:29:20	2 ページ、2 ページでよろしいですか。
0:29:25	規制庁下がるんですけど。
0:29:27	ちょっともう 1 回確認ですけど
0:29:33	ちょっと申請との関係で、
0:29:37	前回のヒアリング後来年度の後半に配送計画の認可申請を出して、
0:29:47	年度中認可が欲しいという案件があったと思うんですけど。
0:29:52	私の認識だとちょっと勘違いかもしれないけど、先に非放射性バルクナトリウムの方をやって、
0:30:01	そのあとに放射性馬力名取の、
0:30:05	ことをやるので、その非放射性バルク名取MEの半数に係る件、次の認可申請でやる。
0:30:17	思ってたんですけどちょっとこの、
0:30:21	前期半数を離すと後期ハウスお話。
0:30:24	が、次の廃棄措置計画でできるのか、次の次の分が出てくるのかっていうのちょっと確認したかったんですけど、どっちなんですかね、皆さんのご理解の通りだ。
0:30:37	でして、次の 2 年次年度の 9 月ごろを前回申し上げましたけれども、その時の申請は、非放射性の大物。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:50	蒲生基本となります。
0:30:52	なので、ここで、2 ページ目で有効期間ず、こういったところは、さらに、あと、
0:31:01	ということになります。
0:31:03	わかりました。ありがとうございます。だから説明いただいたのはバルクナトリウムの全体の搬送の話の説明してもらって、それで次の申請は、非放射性の方ですということですね。前期半数崩壊。
0:31:18	あ、わかりました。はい、規制庁さんです。
0:31:20	基本的な話で恐縮なんですけど、いろいろ聞かれるかもしれないんで。
0:31:25	はい。
0:31:28	ちょっと審査と関係ないんですけど非放射せば幾らと放射性バルクナトリウムを、
0:31:34	不明。
0:31:35	コンテナせ飛行させば池野トレーナーとコンテナ線で、
0:31:41	放射性バルクナトリウムと専用線なんですけど、何か違いってあるんですかね。
0:31:47	コンテナ線等も、ここで書いているのは一般の商業線といいますか、そういう定期便みたいなイメージのものです。
0:31:59	専用性はもう放射性がトリウムを扱わないといけないと、いうようなところもありますので、それに特化したもの、そういうイメージでございます。
0:32:14	やるほど、
0:32:16	まだこれは基本的にその路線で今は検討していると。うん。
0:32:21	だから振興社製バルクな鳥海の方は、もう何て言うんすかね。
0:32:27	ちょっと放射線対策がどういうのなんかどうなのかわかんないんですけど、何か遮へいスルーいたとかそういうのもなしで普通の普通の船と一緒にだってことですか。
0:32:40	そうです。そうなると思います。なるほど。
0:32:43	わかりました。
0:32:49	当然危険物という、輸送になるのでそこ、そういうものになると思います。わかります。はい。
0:32:57	で、ちょっと2 ページ目でこれもまた基本的なことなんですけどこの、
0:33:04	基本的な鳥居MEの輸送で、
0:33:10	障防法の要件を満足してればいいよねっていう説明なんですけど。
0:33:16	ちょっとネットとかで検索すれば出てくるのかもしんないですけどこんな鳥居べ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:21	を扱う上で障防法は何か何を要求してるんですかね。
0:33:27	危険物の扱い器具 3 類というものが取りになりますので、それに、それを適切に扱えるものが求められると。
0:33:40	ちょっと具体的じゃなくて申し訳ないですけどそういうものになります。なるほど。
0:33:45	じゃあちょっと 3 例でどういう対応するのかっていうのを調べとけばいいって話ですか。
0:33:51	ありましたと。
0:33:59	でちょっと 4 ページ、3 ページ目なんですけど、
0:34:05	スペースとかいろんな話を聞くところだと、非放射性ナトリウムなんかそんなに汚れてないって話だし、スペースも限りがあるから、
0:34:17	放射性名取へと非放射性ナトリウム、
0:34:23	抜き出しエリアを共通化するってのはそれはそうだろうなと思ったんですけど。
0:34:29	これを徳田しないといけない理由って何かあるんですか。
0:34:34	津野放射性ナトリウム抜き出しエリアと非放射性のあたりの駅エリアを、
0:34:40	分けるっていうことも、論理的にはできるんだけど、共通化しますっていうのを特許出してるんですけどその理由は何かなぜ、なぜなんですか。
0:34:53	あえて説明している理由とそういう意味ではそういうことでそういうことです。ここはちょっと過去からの説明の経緯というところも実は少しありまして、参考資料の、
0:35:09	というところです。12 ページというところでよろしくお願いします。
0:35:18	もとは、放射性ナトリウムの抜き出しやというところは当然放射性を取り扱うことになるので、泊区域内での抜き出しというのをまずは、
0:35:30	検討してございました。ただそのときからの検討の進捗で、やっぱり別々で分けて抜き出しを設定するよりは、
0:35:46	今の門司の写生ナトリウムの特徴だとか、そういったところも含めて、もうおなじやで、を抜き出した方が良くと。
0:35:56	こういうふうに、その検討の結果、す。そういう、そういうふうな方針が大体固まりましたんで前回の説明内容。
0:36:06	からの進捗の説明ということで、させていただいていると。
0:36:15	基本的にはこの共通というものを牽引してこれからも市としては、進めていきたいと。
0:36:23	いうところで、指針審査といいますか、そういう宣言的なところも含めて、のものかなというふうに今考えています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:34	わかりました。津波個別に、10 ページの話は要するに、何て言うんでしょうか、抜き出しエリアを分けて参ります。
0:36:47	宣言したわけでもないんですよね。矢内です。そうじゃないんですよね。この時はまだ検討の取っかかりでもあったのでまずは、放射性は管理区域でと。
0:36:58	というようなところでそれでやるとまずは、格納容器のオペフロがやっぱりいいんだらうかなあというところで、最初は検討を取りかかったと。そういう経緯がわかりますし。
0:37:12	その時に、一応過去残す形をしておいた方がいいなと思って。
0:37:19	放射性た鳥井土肥放射性名取を共通化して、同じ場所でやりますっていうケーススタディを説明してたんですが、
0:37:29	それを初めて説明せないかん新宮とか、そういう場では、説明した事実はないです。
0:37:38	わかりました。はい。だから、人の話は非放射性廃棄物つうと、
0:37:46	放射性名取へ目。
0:37:48	どこでやるのかみたいのが、ケーススタディは紹介したんだけど、検討した結果が固まりましたっていうことで、そういうふうな位置付けかと思っております。
0:37:58	中国発語発であると、後発ですということですね。
0:38:02	わかりました。で、
0:38:06	等でちょっと4 ページに行ってもらって、一時管理区域の設定は、何かを目標ってのはこれ排水計画ですか。
0:38:19	そうです。これは放射性、ナトリウムを抜きだ数時になりますので、時期としては、今回のその次年度の申請と。
0:38:30	いうものではなくて、その次の申請の時にはですね、一時管理区域の設定はこういうふうにしますということを含めてですね、市、その時は廃止措置計画の中で申請が必要かなというふうに思っています。
0:38:46	わかります。
0:38:47	これは何ていうんでしょうかね、保安規定に基づく一時管理区域の設定とか、
0:38:56	そういうのは対応できないってそう、そう理解すればいいんですかね。基本的にはそういうふうになると思います。
0:39:05	そうなんですか。保安規定では一時管理区域の設定の件はあるんですよね。
0:39:12	ないんですよ。あります。ありますよね。はい。
0:39:16	あつて

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:19	いや、ちょっと申請がどうされるのかなと思って要するに、管理区域設定されてないところをこの作業するんで一時管理区域設定して参ります。
0:39:30	ていう宣言だけするって感じですかね。
0:39:34	いやこの作業が終わる時まで、一時管理区域を設定するっていう宣言なのかこの場所は、定期一時管理区域設定してやってきますっていうのを書いて、あとは保安規定で一時管理区域設定の認可取ってるんでそれに従って、
0:39:52	やるってことなのか、ちょっと遠い書きっぷりになるのかなっていう風にですね。そうですね。イメージとしてはもうそういう感じになるかなというふうに思ってね。うん。
0:40:04	説明させていただく時は、例えばこのもう少し具体的にこの範囲をとか、そういう説明とセットでということになると思うんですけれども。
0:40:14	申請申請書情報んな感じになるかというふうになるちょっとまだ、少し先の話なのでまだ具体的に、
0:40:26	イメージも頭にきてないんですけれども、岩沢さんがおっしゃったような形になるのではないかと、こういうふうに。
0:40:36	考えられるかなと思って。なるほど。わかりました。
0:40:44	4.1 で、ちょっと図の見方わからなかったんですけど。
0:40:50	杉スタッフの後に抜き出し配管、汚泥、加茂。
0:40:55	楨名取浮田氏配管はどこのことなんですかね。
0:41:01	そうです。
0:41:03	それなく4ページ目ではないってことですね。単純に、これちょっと図がもしかしたら、
0:41:11	あくまで存知側から補足できますか。
0:41:16	ほど、普通のこの矢印のことなんですかねTBS1 合計。
0:41:21	いえ、いえ、すいません門司技術次長小畑です。もう、
0:41:27	こちら赤色の既設のナトリウム抜き出し配管というものは、例えば原子炉容器一次系ナトリウムと記載してるところ、これは格納容器の中にある配管から、
0:41:39	今青井ところのナトリウム抜き出し配管の施設ところにつなげるという、そういう線を表しています。そういうこともあります。実績が当然ですけど、荻野長沢配管はあるんですけどですね、それし切れないのでこのような図になっております。
0:41:55	あとは、
0:42:01	ちょっと5ページ目。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:03	ていただいて、
0:42:05	結局タンクの保管場所は、
0:42:08	我々との関係でいうとその何て言うんでしょうかね。
0:42:12	①でも②でも 0300 で読んでも
0:42:20	基準基準低下これは何か障防法くらい守ってれば言い訳しますけど、基準に達すれば良くて別に何ていうんですか①だからいいとか 021 だからいいとか、
0:42:32	悪いんだったらいいとか悪いとかってそういうそういうことじゃないって認識しましたけどね。その通りだかなと思っております一応こういうのを考えて、ここだと思ってますというような。
0:42:46	ご紹介程度かなと。でいいですよ。結局その④になったんだけど、一応 04 にした理由っていうのは、こういうプロセスでやったんだって紹介。
0:42:57	そうですね。工事とかナトリウム搬出をできるだけ速やかにできるように、いろんなこういう視点を考えるところになると、そういう、
0:43:07	感じですか。はい、わかりました。
0:43:10	阿藤 6 ページに移っていただいて、
0:43:17	この赤の吹き出しのところでこの、
0:43:21	ISOタンクの上で
0:43:24	ナトリウム作業Gは抜き出さ業者作業員が近接してあるんですけど、はい、作業員は何をするんですしたっけ、作業員はもうこのタンク。
0:43:37	同配管との横のフランジを接続したり切離したりとか、
0:43:43	あとは充填、
0:43:45	してる時には、
0:43:49	近くにいる、このパラメーターを見たりとかそういうふうなような感じですね。なんかやっぱ近接し、もちろんつける時と通る時は金、人力で近接して、
0:44:04	注入してる。
0:44:06	時を、人が張りついてないといけないってことなんですけど、
0:44:10	張り付いてなければならぬということはないんですけども、ただ、やっぱり、この漏えいの検出だとかそういう、
0:44:22	関心人的な意味合いも含めて、配置というのを考えていますので、そういう意味で、このエリアには、基本的には人が作業中はいると、というようなことになるかなと思ってます。
0:44:37	わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:38	あとは、下のこの既存漏えい対策を活用ってこの既存の漏えい対策で どんなことがあるんですか。もうこれは基本的に、
0:44:48	守れたとしてもですねそこは床ライナーがすでにあったり、言いますと、 そういう、もうすでにある、漏えい対策になります。
0:45:00	なるほど。わかりました。
0:45:03	圧倒は、
0:45:05	経営、
0:45:07	と。
0:45:11	審査との関係でいうところの新設したのを確認するんだけど、
0:45:17	この作業をするから既設のやつも1点確認しないとイケない。
0:45:24	ことになって、
0:45:26	点ですよねだから何だろう。
0:45:30	既存の漏えい対策が既存の漏えい対策でやると言ってますんでってい う。
0:45:36	ことになって、
0:45:40	新設の確認すればいいのかもしれないんだけど、
0:45:45	等がこの電磁空港のもともあって、議決ですね、別でこれと同様の作 業を今までもしてたってことでいいんですかね。
0:45:59	切っていないか点字ポンプでそ、抜いたりとか動かしたりってやってやって たんですよ。
0:46:07	そうですね。はい。
0:46:11	既設のものは特に設計変更とかもない、ないわけですよ。基本はな いですね、上がらないってこと。
0:46:18	うん。
0:46:19	だから既設のものを多分登場人物これ全部一応、
0:46:23	この作業するから見ないといけなくなってるんだけど、
0:46:26	既設やつは設計変更ないですよっていうのと、
0:46:30	あと登場人物のISOタンクとその新設配管の、
0:46:36	基準適合を新たに、
0:46:38	見て、
0:46:40	ていうことかなと認識しましたねはい。
0:46:44	あとは、
0:46:55	ちょっと8ページで、枚数の関係。
0:47:05	構造評価を実施するっていうそれは実施していただければいいと思い ますけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:13	これ、どうなってるんですかちょっとイメージが沸かなかったんですけど、この、
0:47:18	ISOタンク自体のイメージがあんまりないかもしれないですけど。
0:47:24	治山のさっきで置いてるタンク、この10ページ。
0:47:32	このタンクとこの橙色みたいなフレームで、下に行か固定しますよね。 はい。この状態での耐震計算をするということを言ってるんですか。平たく言うとかいう形です。なるほど。
0:47:50	わかりました。
0:47:59	ちょっと9ページ目なんですけど、
0:48:04	ソフト対応で、
0:48:19	②を
0:48:23	漏えいしたら、ポンプ停止したり弁したり速やかに実施する。
0:48:28	対応整備。
0:48:30	ていうのは、これは何か改造したりするんですか。
0:48:35	ナトリウム抜き出しエリア以外でも可能な状態にしておくとかその、
0:48:42	多分名取
0:48:44	抜き出しエリア内でも速やかにやりますということだと思んですけど。
0:48:50	それをやろうとすると、何か遠隔でやらないといけないとかそういう改造をしたりするんですか。改造というよりはですね、ここは
0:49:02	貫田シーマも使うラインが、当然塊も作業する時は固まりますので、万が一じゃ漏えいが起こったら、ここ、
0:49:14	こことこの弁を操作するかそういうふうな分をしっかり手順とかでも定めておいて、それが確実に取れる体制をとっておくと、そういう意味で、ハード的な改造というよりは今ある、
0:49:31	辨野どれを本当にやるんだとか、そういったところを詰めたり、定めて、体制を整えておくと、そういった意味でソフトの対応というふうに考えています。
0:49:42	わかりました。はい。
0:49:45	いえ。
0:49:46	ちょっと10ページの確認なんですけど。
0:49:52	等、その下のISOタンクで総務。
0:49:56	フレキシブル配管の、
0:50:00	ところにはそのフランジから漏れるかもしれないんで、この右の、ちょっと何ていうんでしょうかね、まずバスがあるんですねまずこういう、
0:50:12	ちょっと窪んでるといっか、金出る。なのでこむれちゃったらこのマスにナトリウムとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:20	受けとめられて、
0:50:23	まず 0521 会員、その中に入ってさらにそこから、タンクの側面をドレーン配管みたいなのが小伝っ、
0:50:33	最終的に今、このポンチ絵の左下につけてあるような、容器磯野にそのまま導い導かれると、そんなイメージではない。はい、わかりました。
0:50:48	これでさっき上にあっただんですけどこのナトリウム漏えい件。
0:50:54	引き続き設置っていうのがですね、今後はどれと、このポンチ絵にはどこどこに該当するんですかとですね、この受けますのを、大中の回答文。
0:51:08	どこどこかっていうそういう、この中というイメージですね。わかります。どういう件ちょっと私全然ナトリウム漏えい件数はどういうのが書かないとどういふもんなんですか。
0:51:20	今想定してるのは、確か温度計、温度で現地するようなものを、ちょっと今間検討していると。
0:51:30	そういうことですか、その温度は何ていうんでしょうかねランドくらいなんですか。一方、
0:51:39	移送する、充填するときのナトリウム温度差という温度、大体今 130 度ぐらいを考えますので、そのぐらいの本分です。
0:51:50	そういうことです。わかりました。
0:51:52	それが漏れたらその温度で感じる場所ですね。
0:51:56	そうですね。合うか。
0:52:03	温度で感知しますよね出ますにたまって、それはそのまま自動的にドレンされるんですか。
0:52:12	飛ばすにたまった下にも伝わっていくことになりますので。なるほど。
0:52:18	そういうことですか。
0:52:19	当然入れてる最中であれば、検出したら、停止の操作に速やかに入るそういう流れになるかなと思います。
0:52:28	なるほど、わかりました。
0:52:38	ちょっと悪化。
0:52:39	はい、私は以上です。
0:52:49	じゃ、ページをクリサキです。
0:52:54	今漏えい対策とかいろいろ、詳細設計はこれからなのかもしれないんですけど。
0:53:00	オーバフローなんて考えられてます。
0:53:06	言った時に、立米数って大体ねこのISOタンクの容量ありますから、大体決まってくるはずなんだけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:16	そういうのに対して、青んなんて、機械的にとめるような措置とか、そういったものって何かお考えあるんですかね、一応これを。
0:53:27	三区の、2 充填できる最大量というのは決まっていますので、そこまでに、それをオーバーしないように、
0:53:38	これも操作の手順の中でやっていくことになるかなと思うんですけども、増税分とかも今、下に置いて重量とかも管理しようとは思ってるんですけども。
0:53:50	そい通ながら、今、再電池ポンプでノイズを考えてますので、最後の方になったら流量を絞りながら、あと、
0:54:01	建築部のやつを下げたりとかも前の会計でいくと、そういったところで、もうフォローし、しないように、ちょっとそのところはちょっとアナログ的になっちゃうのか、みんな関心の人が見ながら、
0:54:16	そうですね。はい。わかりました。
0:54:22	できるんだから何かその辺はね。
0:54:26	人の操作ではなくて主体的に止められるみたいなのは難しいんですかねやっぱりね。
0:54:33	簡単に言うと、ガソリン入れると機構で止まりますよね。
0:54:41	何か恒久的な設備入れてくれって話ではなくって、何か
0:54:46	制限を受けてそれで止まるっていうのは、何かそんな簡単なシステムってなかなか難しいんですかね。ISOタンクが皮革品というところも実はありまして、
0:55:00	あまりこう、
0:55:03	やろうと、できることが制限されるという事情も実はありまして、無理なお願いをしてるわけじゃなくて安全、安全面からってということで、
0:55:14	その辺はどうなんですかっていうお尋ねをさせていただいてる時代なんですけど。
0:55:19	僕はしっかり手順とか、事前の訓練だとかそういうのも含めて、ちょっと対応することになると思います。搬出の時の措置ですからねそういうことなんですかね。はい。わかりました。はい。
0:55:32	ここまで今ということ。はい。はい。
0:55:37	今までちょっと確認したかったんですけど。
0:55:40	サイエンスをタンクに入れてる時はどう。
0:55:44	なんちゅうんですかね。どこまで入れるっていうのは、どうやって管理するんですかさ、今の話だとタンクの重量を。
0:55:55	藤、阿藤担当を展示ポンプ。
0:55:59	タンクの重量がある程度まで行ってきて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:02	電磁本展示ポンプ、
0:56:07	野中データも使うとも言ったんだけど、タンクの重量がある程度言ってきたら止めるってそうということなんすか。
0:56:14	そうですね、タンクの重量は一応ロードセルと、馬渡で管理をしよう。
0:56:25	思います。当然そこには誤差もありますので、そういったところも含めてちょっとまだこれは、
0:56:33	これから基準とか決めていくことにはなるんですけども、どのぐらいのトン数まで行ったら、もう絞っている防火とかそういう話に、
0:56:43	になると考えてます。リバーシブルっていうのは電池ポンプの電圧を下げたりとか、下げる常時下げて、
0:56:53	ちなみにこれ、タンクって何割くらいまで。
0:56:56	生み出すんですか。名取ね。
0:57:01	学級、
0:57:02	ちょよつとば、すいません、こちらでパッと出てきました。技術次長川又ですけども空間は殊、10%ですので9割、
0:57:13	渋滞することになります。
0:57:15	なるほど。
0:57:17	だから9割充填するんで旧有井に行きそいだったら多分ちょっと考えて、死没絞っていくわけですね、医療、
0:57:26	持つ事です。停止操作の方はですね実機でも経験がありまして、送り側のタンクの方は本設劇管理で、
0:57:38	幾何容積が決まっておりますので、その辺のあれの中で、どれだけ遅れるかというところで、管理していきます。送り側としては、管理を今、マツイの方で、重量で管理していきますという話をしましたけども。
0:57:54	レンジポンプの利用の方でも管理できますのであらゆるパラメーターを判断しまして、江木管理をしていこうと思っております。
0:58:02	それは、済み液位の停止についてはですね、ある程度惰性がありまして、配管のポンプ。
0:58:11	本部及び配管にたまって部分的なナトリウムが流れる部分がありますので、菌田清も、途中で検証してどれぐらい益が出せていくのかというところも検証しながら進めていきたいと思っております。わかりましたから想像受ける方は朗読されて、今、
0:58:29	送る、送る方もちょっとあれですね、ちょっとどういう管理するか、よくわからなかったけど管理できて、
0:58:36	奥理事は本設の方の液位計がございますので、本設の服役系で管理しますということですか。はい。なるほど。奇形があるから。そうですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	そうですね電磁ポンプの出口に流量計がありますので、その流量管理していきます。なるほど。
0:58:54	一応配管に物残り、残りがあるかもしれないんでそこを見越してですね、9割くらいになるようにしようねっていう話なんですね。
0:59:06	結局やらなきゃいけないタンクは、この三行は42号や矢内年に45ですか。そうですね。なるほど。わかりました。以上です。大体40日と今それぐらいのイメージでございます。
0:59:26	すいません。すいません。基本的なところなんですけど、既設のナトリウム配管って、どういった構造になってるのか教えてもらってもいいですか。
0:59:36	構造なんかトリック。
0:59:39	100度以下とかで固まるじゃないですか。うん。だからそのため、当配管の外側を混在してまいてそこにヒーターが引いた固めて、んなってる。
0:59:54	別にそういうステンレス数で、その周りに本引いたコマイであって、本来がやってて、今回新たに設置する。
1:00:06	配管も同じ仕組み、同じです。はい。
1:00:15	中学校等、6ページでその敷設の配管はその危機管理区域からもは管理期間もそっちも伸びてるんですけど、
1:00:23	これは、だから、
1:00:27	今回の申請では非管理区域のところだけ先に作って、そういうことですかはい、鳥居です。
1:00:34	ちなみにこの一次交換業からなんでこういった下にこう行くんですけどつけこれ。
1:00:39	これは単純にこのISOタンクに移す手段として、この、
1:00:48	下にある下というか一番下にあるBCループの各タンクというところから、最終的にはISOターン一番右側の、
1:01:01	二次KBCグループ各タンクってあると思うんですけど、こいつから、最終的にISOタンクとポンプがその購入事業を考えているので、今そういうふう考えているというものです。
1:01:16	すいません、問10ですけども、今のマツイの説明補足説明、補足させていただきます。一時保管用タンクは配筋第一段階の時に、ナトリウムを移送した時の配管を敷設したんですけども、敷設の作業後は撤去しています。
1:01:31	そうすると一時保管タンクから次の通り抜き出す時には新たに配管を敷設しなければならないので、それで、あと、この緑色の、新たに配管を敷設するという、通信になっている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:42	ということ逗子のイメージはそのようなイメージになっております。以上です。
1:01:47	副所長の藤島です。
1:01:50	見ました。
1:01:53	あと、機器の既設のタンクは、基本的に
1:01:57	生まれた時の請けっていうのはどこについているようなイメージなんですか。既設のやつですかね。そうですね基本的な部屋には、
1:02:10	です。アルミっていうのはですね、たばこがあるんですけど、それをしたりしてありまして、
1:02:23	大江さんこうしたにその部屋の漏えいした時に受けとめるバスの部屋がありましてそこにナトリウムが流れてきて固まるというような設計になってます。それはその受けを打つと。
1:02:36	そうですね。はい。
1:02:42	今回は神関。
1:02:45	配管を一時的なので、そこは、
1:02:50	そうですね。そうですね。引き出し昔はね冷却材としてナトリウムだったんで、それが漏えいして、他の系統に伝播しちゃいけないっていうのもしっかり作ってきたんですけども、今度は、
1:03:05	前、木崎ほかの人だけ言ってましたけど、ナトリウムの輸送出来ん危険物輸送作業なんですよ。
1:03:12	なんで、それが燃えたからといって、原子炉の何か影響あるかっていうと原子炉の燃料取っちゃったし、ということで昔みたいな、リスクが下がってるということも加味して、
1:03:24	我々としてはその漏れない湿気でいけば、これは措置を安全かつ確実に速やかにできるなというようなところも思って、今このような設計の考え方を持ってきた次第です。
1:03:36	あと2ページの工期搬出のところ、
1:03:39	調整量が854。プラスアルファになってるんですけども、
1:03:44	暮らせるかっていうのが、回収可能な数字です。当然かいい少しお話しした、タンクの底に、最後残ってるやつもできるだけ出したいと。
1:03:55	いうところがある。これはこの時期になるかなというところで、プラスアルファというのを5分と一緒になんですけど、回収可能な、またそこは、
1:04:11	今、多分6ページのずー通りになるのかどうかというところも、まだこれから検討をしていくと。
1:04:21	まだそこで集まりきってないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:23	それ専用のものかもしかしたら来てるかもしれないですけど、そこは検討していきます。
1:04:31	蜂谷さんの10ページの、増本それなんですけど。
1:04:36	ここは何か
1:04:37	政策みたいなものを充填しておくとか、基本はそういうところは今と考えてないですね。
1:05:01	審査のこの図でいうと、フレキシブルポンプ中っていうのはこの青色の
1:05:11	青いのはフレキシブル配管ではなくて、今、フレキシブル配管はこの写真とかには、出てきてないんですねはい。
1:05:21	これは何かそれぞれなんでしょうか。
1:05:25	今こんな四つ。
1:05:27	すみません茂木実証工場ですけども、これは青い良いものはですね、タンクの上についているバルブの操作でばですねば、そうするとこのフランジを測ってあげて、
1:05:39	カチャン系。
1:05:40	つくイメージってことですかね。
1:05:47	ありがとうございます。
1:05:54	1点だけ、少しちょっと簡単な診断ですけど、いいですかね。
1:05:59	はい。
1:06:01	審査との関係でさっきちょっと確認し忘れたんですけど。
1:06:06	結局そのISOタンクどう構造評価を、
1:06:13	申請されてみないといけないってことなんで、
1:06:17	8ページでですね、ISOタンクと、あとフレームに、これは何やるか大体わかったんですけど。
1:06:26	このISOタンク専用台車の話がちょっとまだ理解できてなくて、
1:06:32	これはどう、4ページ目行ってもらって、
1:06:40	定例のことですか、CTで。
1:06:44	いや、アイスじゃない、ちょっとISOタンク専業会社和田何をしないといけないのかちょっとわからなかったんですよ。
1:06:53	このCTデールというルールがもともとついておまして、このルールの上を、
1:07:03	ISOタンクが通ってくんですけども、そい愛想たくそのが通らないので、生保台車というのを1枚カバーして、ルールの上を頃、
1:07:17	送っていく。充填するときは、その専用台ルールの上に専用台車があって、さらにその上にISOタンクが、
1:07:28	して、その状態で、しっかり固定されている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:33	そういうことになるので、そういう実態も行ったものというか、そういう状態で、評価をしますと、そういう。
1:07:41	なるほど。
1:07:44	わかります。タンクその部分を、ここで固定してるものはさっき説明してもらってタンクをCTで使って、専用台車に乗っけて動かすんで、その時の、
1:07:59	耐震評価をやるってことですか。動かしている時の耐震評価というよりは、要は、溢水や移送タンクに、充填する状態する充填している状態というか、
1:08:15	その状態、そんな時はもう固定もされていますし。うん。
1:08:23	その状態で、太鼓の各部位の、
1:08:28	対比へと構造強化というか、評価というか、そういうのをやるという、そういうイメージです。
1:08:38	あと専用だ台数の専用対策会社と、構造評価は、
1:08:46	今の説明がちょっと出てこなかったような気がするんですけど、出てくんでしたっけ。
1:08:55	排除年次配送主題でございます。はい。今のお話での整理といたしましては、基本的にはこのISOタンクを建物内に移動するときは、当然からになりますし、
1:09:10	充填された後は、基本的には固体状態にして、全く発生したとしてもそれはもういいということはないので、移動に係るものは、審査の対象としては当然考えてないと。
1:09:24	当然のことながら、イメージ図としましては松井が説明いたしました10ページ目に、どうぞポンチ絵がございますが、ちょっと10ページ目ですか。
1:09:41	はいどうぞ。はい。要はここにISOタンクの図がございますが、この下に固定する、このようなものが、建物の床面。
1:09:50	要は固定するという形で固定をしないと結局構造計算できませんので、するものも含めて要求を含めて、耐震構造計算を、審査としては基本を受けるべきだろうというふうな考え方の整理と、
1:10:05	なってるという考え方でございます。以上でございます。9割とあれですねその専用台車に乗っけてる時に固定してる時、
1:10:16	評価をするってことですか。基本的には固定してナトリウムを液体状態で受ける状態。その状態で固定されてるときが、耐震上のモデル計算の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:27	そういう評価図になりますので、状態でご説明すると審査を受けるという形になります。わかりました。はい。ありがとうございます。
1:10:55	よろしいでしょうか。各断面御説明ところ3本です。
1:11:00	関谷支部とか印象を置きます。
1:11:05	向こうからちょっと外れちゃうかもしれないんですが、私自身、以前もちょっと規模を一部担当してるんで、伺いたいんですけど、まず関東外なんですけど外一般で出すときはこの角谷先方土佐掴んで赤井。
1:11:24	何とか形ので運ぶことになるんでしようがこの1階のちょっと汚いものというものだと思うんですけど。
1:11:34	土肥様の話、朝来市はL型、
1:11:44	藤田さん、考えてます。わかりました。次、六分。
1:11:52	革新3基金国等は国民しないで済むだろうというか福間小牧両答え泊なんですけども、次年こんな感じということ言葉ですね。
1:12:05	ちょっとこのL型たで輸送する条件というか、それが決まっておりますので、それをしっかり、みたいなことになるほど十分
1:12:17	満たせるというふうに考えてございます。わかりました。植木関連というのは5ページの資料です。
1:12:30	四番とか最終勧告四番とかに引き下がっているんですか、それともその前の事業所内損のところはそれは来ないようになるのかない燻蒸になるのかよくわかんなかったんですけど、どういう位置付けになりそうですか。
1:12:46	ISOタンクそのものが、もうL型た輸送容器として
1:12:58	お話を聞いてますけど、普通、情勢パソコンがとったのは、同じ理屈なんですか。口ばっかございますが、
1:13:07	感じさせる。
1:13:13	そういう意味でわかる話だと考えていいのかしら、話を聞いてるわけ。
1:13:19	ええ。
1:13:21	レベルかかっちゃうな。
1:13:28	麻生小松崎沼田君逝きかもしれない。わかります。教授見ます。
1:13:34	ありがとうございました。
1:13:46	よろしければ、資料2の会議の説明をお願いします。武でございますが、資料2はですね、
1:14:00	事象が起こったときの話とか、それから、どういう事象が起きたのかとか、等内部を
1:14:12	確認した結果等々、書いております。それが査定販管費というんがあり、後半はですね今後ちょっとやることをですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:23	示しております。前半につきまして、は
1:14:28	自己資産の方には一応説明はしてあるんですが、もう1回ここで説明する必要があるということであれば説明させていただきたい。いいし、
1:14:40	もし必要ないというのであれば、後半の方の話も、について説明しようかと思うんですが、理解いたします前々サイドから説明させていただいて、多分、看板の人にとっては多分、もう何度も聞いている話かもしれないんですけど。
1:14:57	ちょっとこっかがそれぞれ、それぞれ聞いている範囲がいろいろ違うのでちょっと。
1:15:03	まだコンパクトではインターフェースで全然違う。はい、わかりました。
1:15:09	写真の方の写真です。よろしくお願いします。
1:15:14	まず1ページ目からですね時系列について記載してございます。8月末、10月の18日から書店、遮へい体の取り出しを始めてますけれども、
1:15:27	10月の23日に、笹谷宗大谷形というものを今回取り扱おうとしている中で、1度自動的にその処理が停止するという事象がありました。当時はそのサーベランス二型集合体からこのアトリウムがポタポタと落ちるような構造になっておりまして、
1:15:46	それによって、閉まるべき側って蓋があるんですけども、そこにナトリウムが付着して動作の両方したというのがございましたんで。
1:15:58	それを一緒につきましては、解消した上で、10月25日から再度その2型の集合体と呼ばれるものを取り扱おうとしていたところで、今回の終了が発生してございます。
1:16:11	10月25日の、11時34分になりますけれども、後ろの方に記載してございます。本体Aグリッパ昇降以上という形になって、自動的な運転を停止をしています。
1:16:26	運転自体は、自動と手動と両方ともできますので、12時13分から、あらかじめ定めておりました、9条の手順を用いまして、運転していたところ、
1:16:41	やはりCEDアバルブが動かないようなことは、生じてございます。
1:16:47	同日の15時58分頃を、
1:16:52	ドアバルブが閉まらないという中で、
1:16:58	後程説明しますが、遠慮が収益本体Aというのは2ドアバルブがあると、下側の井川にも、燃料洗浄槽の床ドアバルブというものがございまして、結局、両方とも閉まらないという事態に進展してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:19	後日ですね、11月21日になりますけれども、その病院調査として、尿洗浄槽から目視ができるような、CCDカメラを挿入いたしまして、
1:17:33	挿入したところを、燃料移送ポットというものが内部にあるというのがわかったというのが全体の時系列でございます。
1:17:43	で、
1:17:44	1ページめくっていただきまして、2ページ目になりますが、当時、今原因がわからない段階で要因分析を進めていて、
1:17:54	2ページ目の、ケース1というものの、当方3ページ目、ケース2というところに、原因があるというふうに判断をいたしました。
1:18:03	1ページ、2ページ目のケース1につきましては、今回動かなくなった部分に、多量のナトリウムが付着をして、それで、合計がなくなったんであるろうというような想定が一つでございます。
1:18:17	ケース2というのが、結論としてこちらがそうだったんでございますが、燃料移送ポットというものを持ち込んだというケースでございます。
1:18:28	3ページ目ご紹介いたしますと、図の左側が炉外燃料貯蔵槽という中で、サーベランスをつサーベランス集合体に型をつり上げるときの
1:18:41	真ん中から右側が今回、事象が発生した燃料洗浄槽というところでのサーベランス型集合体のフロー仕組みというところでございます。
1:18:54	まず、左側のところを見ていただきまして、図2型の集合体は、の一番下のところのEVSDというところに入ってます。
1:19:07	本来は、この青色に言っております、サーベランス集合体2型のみをつり上げる予定でございましたが、左側の絵の赤点線で書いてあるようなところで、
1:19:20	外側にあります金曜の大磯ホットというものと、2型の集合体の方の部分が引っかかって、一緒につり上げてきたというところを想定いたしました。
1:19:33	で、このままだとどうなるかと申し上げますと、次の右側に移りまして、今度燃料洗浄槽の中に、2型の集合体を洗う時におろし込むんですけども、その時に、
1:19:47	余計んといえますか、ちょっと形状が太いサポートでございますので、途中で止まっちゃって、それが残るというようなところで、
1:19:59	その調査区の干渉物によって、ドアバルブがしばらくなくなるというのは想定をしました。
1:20:06	その上で、一番下に書きましたけれども、本当にこういうことになっているのかということ、燃料洗浄車の中にCCDカメラを入れて確認したところでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:19	ちょっとページ目をさしていただきまして7ページ目が、
1:20:26	実際の観測の状況でございます。
1:20:30	写真が4枚ございますけれども、真ん中に、上のほうが燃料出すべき本体、下の方が燃料洗浄槽でございますけれども、
1:20:41	3分の燃料洗浄槽のフランジ部分から、カメラを挿入したというところで、
1:20:48	写真の一番2番、左側の写真ですが、これがフランジ面から見たときのそれから、右の写真の三番四番、これがCCDカメラの中に挿入して、
1:21:02	ウィンドウズの表面を見た時の写真でございます。
1:21:07	まず一番、写真一番見ていただきますと、フランジ面から多くを除くと、本来、ここはクルゾのはずのところで、何かしら長尺のものがあるなというのがわかりました。
1:21:20	さらにですね、直屬を突っ込んで、燃料洗浄槽の内壁面から、異物の外壁面は測ると36mmというのがわかってます。
1:21:33	これにつきましては、数式いかんと話す出郷書いてますが、燃料洗浄槽の内径、それから、燃料不足を解消悲観したもの。
1:21:45	半分います。だから、両サイドにこの隙間があるということで、36mmと一致しますので、この緩衝物は、燃料移送とかというところを特定しています。
1:21:59	右方の写真を見ていただきますと、ポチポチと何か白いこう粒状のものがついてると思いますがこれがナトリウムの酸化物が写真として写ってございます。
1:22:12	結論としましては、下の方に書いてますが、船長層内には安藤スポットがあるということがわかったことと、大城井戸球場の酸化物が付着していたということ。それから、
1:22:25	見た範囲では機器の損傷は特段ございませんでした。
1:22:31	そういう状況でございますので、8ページ目ご覧いただきまして、これまで要因の調査特定は、行っていきましてけれども、そろそろ復旧フェーズに入りたいというところで、
1:22:46	今回改めてご説明を伺ったところでございます。
1:22:53	現在は復旧方法を検討という業務の追加試験というのを教育から始めてございます。
1:23:02	で、
1:23:03	生活圏というのは後程を紹介いたしますけれども、これを実施することによって、復旧方法をどうするのかというものを定めたいと考えてございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:15	10月の19日頃には何とかそういった復旧方法も定めた上で、復旧の絵図に入りたいというところでございます。
1:23:25	追加主幹と申しますのは、次のページ9ページ目を見ていただきまして、
1:23:33	事と、このサーベランス集合体を一体一体、個別に取り出すのか、もしくは、一体で取り出せるのかなというのを検討したいと考えてございまして、
1:23:44	安全かつ速やかに復旧するための方法を検討するという事で、まずはこの、
1:23:51	型になっている燃料層厚と何というものが特化するのかどうかというのを確認したいということでその試験を実施してございます。
1:24:01	現状におきましては、この三つある図の一番左の状態でございます、サーベランス集合体の2型は、燃料出し入れ機本体の一番上に吊り上げた状態、それから黄色い層厚等につきましては、
1:24:17	洗浄槽内の狭くなった部分に引っかかっているような状態でございます。
1:24:25	この状態で開発をしようとしていきますと、熱が逃げるところがございますので、まずはそこにホンザイ標準提案をし、磯野の自費余熱ヒーターを導入し、ステップ1のような状態に持っていきます。
1:24:41	で、ヒーターを付けますと、今度その熱が、ホットなんだなというふうに伝わっていきますので、いずれかは、ナトリウムを用意できるというふうに考えてございまして、取り組みが優秀したら、
1:24:55	山のような、鶴田ナトリウムの中にサーベランスも新潟の代田様、入れ込む。
1:25:03	形で考えております。
1:25:05	この状態までいくと、サーベランス2型の集合体と燃料移送のことが一緒に持ち出されるというような形になりますので、
1:25:15	まずは、本当に福岡支社という特化するのかどうかというような資金を実施しているところでございます。
1:25:24	この状況にありまして、先ほど申し上げた今後の普及を、を検討したいという現状の考え方でございます。
1:25:34	詰めとしては以上です。
1:25:44	確認とあればお願いします。
1:26:01	研修、どうぞ。
1:26:05	下からイシイですけども、
1:26:12	まず、ちょっと確認したいんですけど。
1:26:16	これ、復旧、あれですよねこのいただいた9ページの図なんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:24	言った
1:26:28	置かしていきたいにして集合体サーベランス集合体突っ込んだ後に、
1:26:33	もう1回固めるんですよ。
1:26:37	違う、液体のまんま持ち上げるんですか。
1:26:40	えっとですね復旧方法は今現状考えておるところでございますけれども、
1:26:47	そうですね。ナトリウムが再度固めることになると考えてます。
1:26:52	これからいろんな家、開校したりする作業のときに、やはり溶けた液体のナトリウムであると、危険を伴いますので、固めた状態で作業する方がより安全だと考えてます。
1:27:09	佐藤。あれか。ちなみになんですけど、これ、あれですか。
1:27:15	磯野ポットの中に、交換前に、
1:27:20	移送ポット内のナトリウムが液化して、磯佐橋事を下ろして行って、
1:27:27	最終的にポットの、そこまできちんと食べる仕事に行ったりというのは、確認はできるんですかね何か長さ方向とか重量がゼロになるからそこでわかるんですか。はい。おっしゃる通りです。
1:27:39	0になった時とその時のワイヤーの長さで、入っただろうっていう想定ができるっていう理解でよろしいですか。そうです。一番最初、この、
1:27:51	燃料洗浄槽に持ってきた時に引っかかった状態の長さの数値は押さえてますし、そのスーチーを確認すれば、今、集合体形がどこまで置いたかっていうのがわかります。それから、
1:28:07	先ほどおっしゃった通り
1:28:11	一番下までおけると、それで荷重が0になりますので、その二つの方法で判断することが可能です。
1:28:21	わかりました。あと、もう一つ、これ、縦うまくつり上がったとしてそれで答え化して、財源集合体と燃料ポットが次上がったとして、
1:28:34	多分今度は閉めてから戻す作業になるんだと思うんですけどCVTの方にですね、EVSTの方に戻す作業になると思うんですけど。
1:28:45	戻したとってあれなんですかね。今度外れるようになるんですかねっていう話がちょっと気にはなるところではあるんですけど、これは後にするっていう理解なのかなと僕は思っているんですけど、この集合体とポットについてはですね。
1:29:01	そうですね2人も含めて最終的な復旧の方法っていうのはどういうふうになるのかっていうのは六ヶ所の1で示していただきたいなと思っているんですけどっていうことも含めてちょっと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:13	ちょっとコメントさせていただきます。はい。この試験があればですね、復旧方法のある程度の方針が固まって参りますので、その段階に再度ご説明が必要かなとは考えてございます。
1:29:26	はい、ありがとうございました。
1:29:30	加古金光です。越智栗城になっちゃうかもしれませんが、9 ページのステップ 2 のところで、おそらく推定される対応案として、
1:29:43	サーベランス集合体人、ポップアップする状態でポットが引っ付いてくるという形を取るパターン、これであれば自分を変えないわけですけど。
1:29:55	ポットそのものを、軸を変えてするという案のバーいで次はどうやって変えられるんでしょうか。中がバウンダリーになってる前提だと思うんですけどそこちょっと技術論を教えてくださいませんか。
1:30:12	はい。ステップ 2 ので申し上げますと、
1:30:18	一番下に黄砂が集合体になった下ろした状態で、この作ってる事業を外すことが可能です。まず外してその地区だけ上まで引き上げて、最後にこの、
1:30:33	上の方にニジュウマルみたいな絵があると思いますけれども、この駆動装置を、プラパックと呼ばれますコピーに袋に囲った状態で、警梯業種しながらそのまま引き上げて、今、バックアウトみたいに小規模ですね。
1:30:53	はい。そうするとここごと積み上げた方が安全手堅い空手形 1 勤務間隔なんですかね。
1:31:02	そうですね。復帰方法はやはり試験が終わった後に検討にはなりますが、そのアイデアもございます。もしというと、
1:31:13	ちょっと雑木コメントをさせていただきたいと思いますが、この資料で、大体の経緯との途中までと書かれてると思うんですけど。
1:31:25	検討チームで、我々の株を知りたいというか、続いて欲しいと思ってることとしては、警部給湯機器の健全性使えるものだと、安全にとしますところ。
1:31:41	Dになると思ってますと、一つあると。定時検のメニューみたいなやつの話になってきてそこまでの説明で、
1:31:50	復旧して、健全性を確認するっていうのがワンセットになると思います。
1:31:56	もう 1 個 000 が触れてないとは言わないんですけど引っかかっちゃったっていうところでもありますんで、あんまり触れてないんですけども応答何が原因でこれが起こりました、再発防止はこれです是正ですね。
1:32:12	ていう話をした必要になりますと、その時に、運転員間の力量がどうだったとか手順書がどうだったであるとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:23	これもちょっと資料になるならない別として、身分としては多分こうあんでしょう。ちょっと普段と中央部に開所するときはどうしたらいいかどうか。
1:32:34	ちょっときつい話ですけど知見がある。なんか変。昔からやってる方が不在になってきて今はどうかとか多分そういう話になってく話なるんで、その手前までの運転員さんの力量とか手順ぐらい等の話は、
1:32:50	しっかり入れていかないといけないと思います。
1:32:55	あと、これのところで、下げる手法等にも話をしていて、これやってたら入れて欲しいんですけど、穴ぼこが横にあって、
1:33:06	ずっと横に出るって、本当の力がかかるから揺れてきかかるんじゃないかなんて話の先生の頭には何か、自動的にインプットされてそう説明したわけじゃないんですけど、もう穴の話なんかもあると、議論がスムーズだなあと見ます。
1:33:25	そうですね原価再発防止対策どこまで書くかに回んですけど、知らないことが起こったときに先都丸とかそんな論点は、
1:33:35	残ってくるんで、そういったことが資料がある必要がと思います。2月までの話なんですけども、1月にちょっと販売で何回も出してくださいすいません、お願いします。
1:33:47	はい。承知しました。まずですね健全性の話から申し上げますと、もともとですね電力が収益本体Aであるとか、佐藤パルプっていうのは、次の点検で、分解とかそういった点検をしようと考えてましたので、そういう点検をして、
1:34:07	上で、復旧をして、点検回った後には当然ながら定期自主検査定期事業者検査を実施いたしますので、再開するときにはそういう停止であろうと考えてございます。
1:34:22	それから、是正の話につきましても現在、不適合管理をしている中で、時系列から要因の分析等々を実施してございますので、その中で上がってきた是正な対策につきましては、
1:34:36	しっかりと対応し、再発防止を行った上で、再開するものというふうに考えてございます。以上です。説明お願いしようと思っております。そうですね。最後に資料には盛り込みをいたします。
1:35:12	聞いてみましたら、せつかくすいません、ちょっとやっぱしちゃうと思うし、新田委員さんは気づいて隠しついてなかったかとかって、何か一応推理を。
1:35:23	面談の時はまだ全然アップ圧の状態があったんで聞けなかったんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:29	や何か見解とかってあります。運天さんは気づいてたのかとか手順書にないっていうのは事実として伺っていたんですけども。
1:35:40	だったらまだ今整理ついてませんでも結構ですけど、現在はその辺りにつきましても整理をして、事象の調査を行っておるところでございます。はい、わかりました。すいませんでした。
1:36:11	ちょっとウエノですと、9 ページの一番左の絵の状態が、
1:36:17	現在の状態だと認識してるんですけど。
1:36:22	これ、このポットから集合体が抜けてるんだから、
1:36:28	名取はこれ溶けてるのかなと。
1:36:30	ですけど、こんなことは答えたってということなんです。そうですね洗浄槽側のヒーターは今入れていないので、ナトリウムは固まっています。
1:36:44	とけて言った。
1:36:45	私もともと後出てました。はい。出かけてる状態で抜けたと。そう。
1:36:52	ということですか。
1:36:54	尾島。冷えてるだろうからって言ったら、
1:37:00	騒音分でわかってる
1:37:03	そうですね
1:37:05	1 度サーベランスごとに型をつり上げた、試験前の状態っていうふうになった後に再度挿入しようとしたんですけども。
1:37:15	ある一部分までしか挿入できなかったというのが、
1:37:21	その当日の状態ですと、そうなる、
1:37:24	名取はもう固まってしまうというのわかります。1 回はそうとした時にもう固まり始めてたということが確認できてるといことですかね。はい。はい、わかりました。
1:37:38	相談をすいません、赤塚モモセですすいません 1 点、すいません。基盤の寄付金になっちゃうんですけど、資料にいきなりこの資料で始まるとちょっときついものがあると思うので、ぜひ
1:37:54	燃料
1:37:56	道新合併EVSTバークレー年利益が増えに燃料出し入れ機が開発手続きより小出書いてあるけど、全体に見えるようにちょっとしていただける。
1:38:10	いますでしょうか。それはそれでわかると思うんでいきなりお願いします。
1:38:16	そうですね。そもそも遮へい体の取出し作業とは三種が確かに抜けてますので、それがあれば、全体が示せますので、まずはその 1 枚を表が身につけたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:30	ありがとうございますその通りですし、そして、隔々指導、
1:38:35	規制庁の佐田です。私も農業生産と同じ意見で、
1:38:42	この花C、ちょっと関心介護でも話をするようにっていう、
1:38:50	上からの話もあったんで、ちょっとその時もちゃんとどういうことがあったのかっていうのも、
1:38:57	わかってご覧追加ですね。
1:39:00	鎖配慮も重要だと思ったので、ちょっと多分一般の人から、
1:39:06	一般の人がこの話、何が起きたのかって多分よくわかんないんじゃないかなっていう。
1:39:13	というような気がしてまして従ってその
1:39:17	我々との関係だと、このレベルでいいのかもしれないんですけど、多分、
1:39:22	1 ページに説明してえてすぐ要因分析に入っちゃってるんで多分もうちょっと前段の1 ページ目をちゃんと解説してあげる。
1:39:33	業務がないと、多分な。何かトラブルがあったってことしかそのインプットされないような気がするのでちょっとその、
1:39:42	もうちょっと何ていうか多分1 ページで、
1:39:45	説明する本気圧を2 ページ目に載っければ解決するのもかもしれないんですけど。
1:39:52	ちょっとその度にどういう事情があったのかっていう。
1:39:56	解説書ですかね、何かそれを一般規制わかる簡単な資料を入れ、入れないかと思ったんですけど、それはできそうですかね、金麻生ですね先ほどもコメントと同じだと思いますけれども
1:40:12	そもそもこの燃料を洗浄するという行為が、どういった行為なのかみたいな、ポンチ絵があれば、その中で何が起こったかっていうのもあわせて装備ができると思いますので、そういった資料が、
1:40:26	この時系列の後ろにあると、お前との繋がりがいいのかなとは、考えました。はい、わかりました。すいません、失礼します。以上です。
1:40:36	赤松です。真野さんは重ねてもらってありがとうございましたそうですねあの遮へい体が不自由であって農業の話みたいに、設立されちゃいますんでその辺をなんかよくわかるようにしてもらえるといいと思います。もう燃料は全部、
1:40:50	意見にありますみたいな感じ。よろしく願います。承知しました。
1:41:20	他よろしいでしょうか。ちょっと初歩的なところ、栗崎です。1 点だけ、この

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:26	燃料代CDのワイヤの部分の数がしてきたから大丈夫なんでしょうけど。
1:41:35	大丈夫なんですよねっていう感じです。麻生大丈夫そうです。もう、もちろんこっちまで持ってきてるからそうなんでしょうけど、やっぱ燃料自身はもっと思ったんですよ。そういうことですね。はい、わかりました。ありがとうございます。
1:41:57	はい。
1:42:02	ありがとうございます。ございますけど、よろしいですか。
1:42:08	もうちょっと大きな声でお願いします。福井委員、生物圏でも聞こえますか。お願いします。
1:42:14	モモセカラーやられた通りなんですけど丁寧に説明するときにはですね、例えば 11 ページ目のところで、3 日の事象、
1:42:27	これについては、それ以降に説明されてる事象と、何でこれが発生したかっていうのが、おそらく違うはずなので、そのところも、この
1:42:37	サーベランス集合体になったものを移動させたときに何でこれが発生するのか、その構造的なもの等を含めてですね、この監視G安全監視チームの概要で説明するということですので、丁寧に、ちょっと資料をつくれたのでお願いします。
1:42:57	ちょっと私からは以上です。はい、そうしました。どうぞ、どうぞ。
1:43:08	羽根。
1:43:12	他よろしいでしょうか。企画は何かありますか。
1:43:18	全体通じてよろしいでしょうか。
1:43:22	であれば、本日の面談としては以上で終了したいと思います。
1:43:28	ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。
1:43:32	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。